



2024年のノーベル賞受賞者・団体
ノーベル財団：肖像画家
N. エルメヘッドによる

例年、10月の第一週はノーベル賞の発表が世界中を駆け巡る。今年、日本では、「日本被団協」がノーベル平和賞に輝いた(図1段目右、本誌11月10日号のコラム参照)。12月10日は、ノーベルの命日で、ストックホルムとオスロでは授賞式が行われ、受賞者代表から受賞の挨拶がある。この混沌とした世界に対して、各分野の受賞者は、どのようなメッセージを発するのだろうか。今年のノーベル賞を簡単に紹介する。

2024年のノーベル賞

北里環境科学センター
名誉顧問／宇宙生命哲学者
伊藤 俊洋

宇宙生命哲学 ことばはじめ

72

◆生理学・医学賞は、ヒトを含む多細胞生物の遺伝子の働きを制御する「マイクロRNA分子」を発見した米・マサチューセッツ大学のビクター・アンブロス教授(図1段目左)と、ハーバード大学のゲイリー・ラフカン教授(図1段目中)に与えられる。多細胞生物にとって不可欠な、全く新しい遺伝子制御の原理を明らかにしたことが評価された。◆物理学賞は、現代のAI(人工知能)技術の中核を担う「機械学習」を、人工神経ネットワークを使って可能にする基礎的な発見と発明に対して、米・プリンストン大学のジョン・ホップフィールド教授(図2段目左)と、カナダ・トロント大学のジラフリー・ヒントン教授(図2段目中)の2人に与えられる。ノーベル賞には情報分野がない。物理学の考え方をAIに移植した2人に物理学賞が与えられることには、これまでの常識では物理学賞の範疇ではないとして、驚きの声があがっている。この領域では、日本人の先行研究の評価も高い。◆化学賞は、全く新しいタンパク質の設計に成功した米・ワシントン大学のデイビッド・ペイカー教授(図3段目左)と、AIを駆使してタンパク質の立体構造の精密予測に成功した英国ロンドンに本社のある「DeepMind」(ディープマイン)社：米国のIT企業、グーグルのグループ会社)のデニス・ハサレラCEO(図3段目中)および研究チームのジョン・ジャンパー氏(図1段目右)に与えられる。◆文学賞は、韓国の女性文学者、ハン・ガン(韓江)氏(図2段目右)に与えられる。氏の作

品は、現代の散文学界において革新的であるとの評価が高い。ハン・ガン氏は、受賞記者会見の要請に対し、世界で遺体が運ばれている時に晴れがましい席に着くことは控えたいと辞退されている。◆経済学賞は、社会制度と国家の繁栄の関係を明らかにした米・マサチューセッツ工科大学のダロン・アセモグル教授(図4段目左)とサイモン・ジョンソン教授(図4段目中)、およびシカゴ大学のジェームズ・ロビンソン教授(図4段目右)に与えられる。